

## 競技全般

### ①大会出場資格の譲渡の禁止

- 出場資格の譲渡及び、譲渡された資格での出場は禁止です。
- 事故が生じた際に適切な措置が取れなくなります。

### ②悪天候時及び有事・災害等の措置

- 雨天でも決行します。
- ただし異常気象による高温・低温時や強風など競技環境が悪化している場合は、距離の短縮や競技内容の変更、またスイム競技が、ラン競技に変更となる場合があります。この場合、リレーのスイム担当の選手が、ラン競技となる場合があるので、ランニングシューズ等の準備をしてください。
- 開催地の災害等の発生時には、競技を中止することがあります。また、開催地以外でも周辺交通機関等の状況、海上自衛隊館山航空基地の活動、緊急出動により大会を中止することがあります。
- 競技短縮、中止の場合でも参加料の返金は行いませんので、予めご了承ください。
- 自己の都合による、キャンセルについても返金は、致しません。
- 競技内容変更の際の詳細は公式HP・SNSおよびアナウンスにてご案内いたします。

### ③競技説明会

自衛隊基地内という会場の特性、安全管理のため競技説明会への出席を義務付けます。併せてヘルメットチェックを行います。自転車用ヘルメット(「4 バイク(3)ヘルメットの着用義務」の項を参照)を持参してください。説明会参加後に、レースナンバーをお渡しします。

### ④レースウェア及び携帯音楽プレーヤー

- フロントジッパーなしのウェアを推奨します。ジッパー付きのウェア(バイクジャージなど)も着用可能ですが、競技中にジッパーを開ける事は禁止とします。
- 携帯音楽プレーヤー、イヤフォン等を装着しての競技は、危険なため禁止です。

### ⑤防寒及び暑さ対策

天候の変化に柔軟に対応できるようなレースウェア等の準備をされることを推奨します。

### ⑥レースナンバー

- 受付の際に①ボディナンバーシール②レースナンバーカード(ゼッケン)③ヘルメットステッカー④バイク用ステッカーを配布します。ご自身のレースナンバーを確認の上、指定された箇所に表示をしてください。
- ボディナンバーシールは、両腕の外側に貼付してください。
- バイク競技とラン競技でウェアを変える場合は、バイク競技中は、背面に、ラン競技中は、前面にレースナンバーを表示してください。レースナンバー用ベルトは、使用可とします。
- ヘルメットステッカーは、前面にバイク用ステッカーは、サドル下部のフレーム両面に貼付してください。

### ⑦タイミングベルト(計測器具)

- 競技中は、入水前に配布するタイミングベルトを必ず足首に装着してください。
- ラン競技でフィニッシュするまで、外さないでください。
- 装着せずにスタート、または途中で外したままの場合も失格となります。

### ⑧途中棄権の申告

途中棄権する場合、テクニカルオフィシャル(審判員)に申告してください。タイミングベルトはテクニカルオフィシャルに手渡してください。

### ⑨制限時間

51.5km部門(オリンピックディスタンス、リレー)は、スイムはスタートから1時間後、ランはスタートしてから3時間30分後です。25.75km部門(スプリント、駅伝)は、スイムはスタートから40分後、ランはスタートから1時間45分後です。制限時間を過ぎた場合、競技を中止いただく場合があります。

### ⑩周回チェック

- 個別の周回数を競技中にスタッフが教えることはできません。
- 事前に自分の周回数を確認の上、サイクルコンピュータやその他の方法で周回を確認してください。
- コース上の計測ポイント不通過、周回不足は、失格となります。

### ⑪リザルト

- 速報版は大会会場に掲示します。
- 公式記録は、大会終了後数日以内に大会ホームページに掲載します。記録証は本大会ホームページからのダウンロードとなります。

### ⑫エイドステーション

スイム、ランに設置します。バイクコースにはありません。ランはコース周回上に1カ所用意します。手渡しは行いません。

### ⑬更衣テント

会場内に更衣テントを男女別に設置しますので、手荷物の注意の上、お使いください。

### ⑭救護テント

- 会場内に救護テントを用意します(スイムエリア、自衛隊基地内、フィニッシュエリアの3箇所)。医師や看護師が待機し、応急措置を行います。
- また、ランエイド、バイクコースにも救護スタッフを配置します。

### ⑮体調管理

- トライアスロン競技は、大きく変化する環境下でのスポーツであり、またコンタクトスポーツの側面もあることを認識していただき次の点等について確認の上、参加してください。
- 健康上不安のある方はあらかじめ、主治医や医療機関にご相談いただき指示に従ってください。
- 当日の体調について不安のある方は、救護テントの医師にご相談

ください。

- 大会参加者、ボランティアは、大会保険に加入しますが、治療費を全額保証するものではありません。また持病のある方などは、内容によっては保証されません。
- 競技スポーツに参加できると判断できない身体の方には、参加をお断りする場合があります。
- 体調等の事実を隠して参加し、体調が悪化しても主催者は、一切責任を負いません。

### ⑯会場内施設の使用について

海上自衛隊基地内の施設に勝手に立ち入る事はできません。基地敷地内でのトイレは敷地内に設置した仮設トイレをご利用ください。

## スイム

### ①コース

沖ノ島海水浴場に設定した1周750mの三角形コースを、51.5km部門(オリンピックディスタンス、リレー)は2周、25.75km部門(スプリント、駅伝)は1周します。アクアスロンジュニア(小学校低学年)部門は、海岸に並行した往復コース200mを泳ぎます。アクアスロンジュニア(小学校高学年・中学生)部門は海岸に並行した往復コース400mを泳ぎます。

### ②ウェットスーツ

着用義務とします。ラッシュガードは認めません。ただしアクアスロンについては、着用推奨とします。

### ③レスチューブ(瞬間膨張式浮力具)

装着を認めず。使用(膨張させた)場合は、大会スタッフが健康状態を確認した上で参考記録として競技を継続できます。膨張させたレスチューブを利用(つかまったまま等)して前進した場合は、失格となります。

### ④スイムスキップ

ありません。

### ⑤スタート

オリンピックディスタンス、スプリントディスタンス、リレー部門はローリングスタート(※)とします。駅伝、アクアスロンジュニア部門はウェーブスタート(一斉スタート)とします。(※)ローリングスタート:10人ずつ10秒ごとにスタートを行い、混雑を緩和させるスタート方法

## トランジションエリア

### ①競技用具の設置

競技カテゴリーごとにトランジションエリアを設けます。指定された時間内にバイク、ラン競技に必要な物を、設置してください。用具が散乱しないようにまとめてください。

### ②競技用具の回収

競技の安全のため、トランジションエリアの解放の時間まで、お待ちください。トランジションの出入りの際は、レースナンバーが必要で、バイク回収の際は、バイクのレースナンバーと照合します。

## バイク

### ①コース

海上自衛隊館山航空基地内の周回道路を51.5km部門(オリンピックディスタンス、リレー)は9周、25.75km部門(スプリント、駅伝)は4周します。

### ②バイクの種類

51.5km部門(オリンピックディスタンス)、25.75km部門(スプリント、駅伝)はロードレーサータイプの自転車を使用してください。ハンドドルはドロップハンドル若しくはこれに準ずる形状としてください。リレー部門はマウンテンバイク、クロスバイクでの出場を認めます。上記のいずれの場合も転倒した時に怪我の原因になるスタンド、かごなどは予め取り外してください。

### ③ドラフティング、ブロックング

禁止です。ドラフトゾーンは前方選手の前輪先端から後方10mです。追越すときでも20秒以内に抜けださなければなりません。追越された選手は加速をやめドラフトゾーンから脱しなければなりません。並走、集団走行を避け、ブロックングとならないようキープレフトを心がけて走行してください。違反に対しては罰則を課す場合があります。

### ④サイクルコンピュータ

51.5km部門(オリンピックディスタンス)、25.75km部門(スプリント、駅伝)は装着を義務付けます。

### ⑤ヘルメットの着用義務

- 会場およびコース上で自転車に乗車するときは着用を義務付けます。自転車競技用の硬質ヘルメット(公益財団法人日本自転車競技連盟(JOCF)の基準に適合したものと同等のもの)を使用してください。競技説明会場でヘルメットチェックを受けた物を使用してください。貸し出しはありません。
- バイクをラックから外す前にヘルメットを着用し、ストラップを締めてください。
- バイクをラックに掛けた後にストラップを緩めることができます。

### ⑥バイクボトル

ベトボトルの使用は、できません。

### ⑦乗車ライン、降車ライン

- 乗車方法:片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面に着いてから乗車をしてください。
- 降車方法:降車ライン手前の地面に、片足が完全に着いてから降車をしてください。

### ⑧ゴミシュート

バイクコース上1箇所ゴミシュート場所を設置します。自衛隊基地内での場所以外でのごみのポイ捨ては禁止とし、失格の対象とします。

## ラン

### ①コース

海上自衛隊館山航空基地内の周回道路(防風林脇1周2.5km)を51.5km部門(オリンピックディスタンス、リレー)は4周、25.75km部門(スプリント、駅伝)は2周、アクアスロンは1周します。アクアスロンジュニア(小学校低学年)部門は1周1kmです。

### ②フィニッシュ

フィニッシュの直前では、帽子サングラスを外すことを推奨します。

### ③同伴フィニッシュ(ペットはご遠慮ください。)

他の競技者の妨げにならない範囲で、一部認めます。フィニッシュゲート手前の待機ゾーンで待機してください。フィニッシュした選手が同伴する場合は、ナンバーカードを外してください。他の競技者の妨げになると判断した場合、不可抗力であってもペナルティーを課す場合があります。  
【個人】家族のみ【リレー・駅伝】同一チームで参加したメンバーのみ認めます。

## リレー部門(1人1種目オリンピックディスタンス×3人)

### ①選手引継ぎの方法

タイミングベルトを「たすき」のように次の種目の競技者に引継いでください。

### ②引継ぎの場所

次の競技者は自チームのバイクの前の場所で待機し、そこでタイミングベルトを引継ぎます。スイム⇒バイク:バイク競技者はタイミングベルトを受取った後にバイクに移ります。バイク⇒ラン:バイク競技者はバイクをラックに掛けた後にタイミングベルトの引継ぎを行います。次の種目の競技者がタイミングベルトの取外しを手伝ってもかまいません。

### ③繰上げスタート

制限時間内に次の種目に引継げなかった場合は、繰上げスタートとなります。予備のタイミングベルトを使用したオープン参加となります。

## 駅伝部門(1人3種目スプリントディスタンス×3人)

### ①スタート

駅伝のスタートは一斉スタートとなります。1区の手選手は試泳後、スタートまで待機してください。2区・3区の選手は引継ぎ前、適宜に試泳を行ってください。

### ②選手引継ぎの方法

タイミングベルトを「たすき」のように次の競技者に引き継いでください。フィニッシュラインを超えた選手はスイムエリアにある駅伝交代エリアでタイミングベルトを引き継いで次の競技者はスタートしてください。

### ③繰上げスタート

前区の選手が制限時間内にフィニッシュ出来なかった場合、及び途中で競技を中断した場合は、繰上げスタートとします(2区:スタートから1時間45分後、3区:スタートから3時間30分後)。

### ④代理出走の禁止

駅伝のメンバーがレースに参加できなくなった場合、残りの選手で競技に参加する事は可能です。ただし記録は参考記録となります。代理出走は禁止とします。代理出走が判明した場合失格とし、直ちに競技を中止してもらいます。

## 写真・ビデオ撮影に関して

### ①撮影許可対象

選手の家族、応援者に限り撮影を認めます。撮影を希望される方は大会本部で登録手続きをお願いします。最近不健全な目的で写真やビデオ撮影(透視)が問題になっています。会場で撮影している方に大会関係者が声をかける場合がありますので、ご協力をお願いします。また不審な撮影者を発見した場合は、大会本部または近くの係員にお知らせください。

### ②無断での各種メディアへの掲載禁止

実行委員会が特に認めた場合を除き、被写体となった本人の了解なく、各種メディア(インターネットページを含む)への写真や動画等を掲載することはできません。

### ③基地内での撮影禁止

海上自衛隊基地内という施設の特性上、競技中のコース内撮影はできません。バイクなどへのカメラ設置は禁止とします。カメラ付きスマートフォンをサイクルコンピュータ代わりにする場合及びカメラ機能付きサイクルコンピュータを使用する場合にはカメラ機能を停止してください。コース内持ち込み発見時は、現場画像が確認された場合は失格とし、その場で画像を消去していただきます。SNSなどへの投稿が発見された場合、厳正な対応を取らせていただきます。